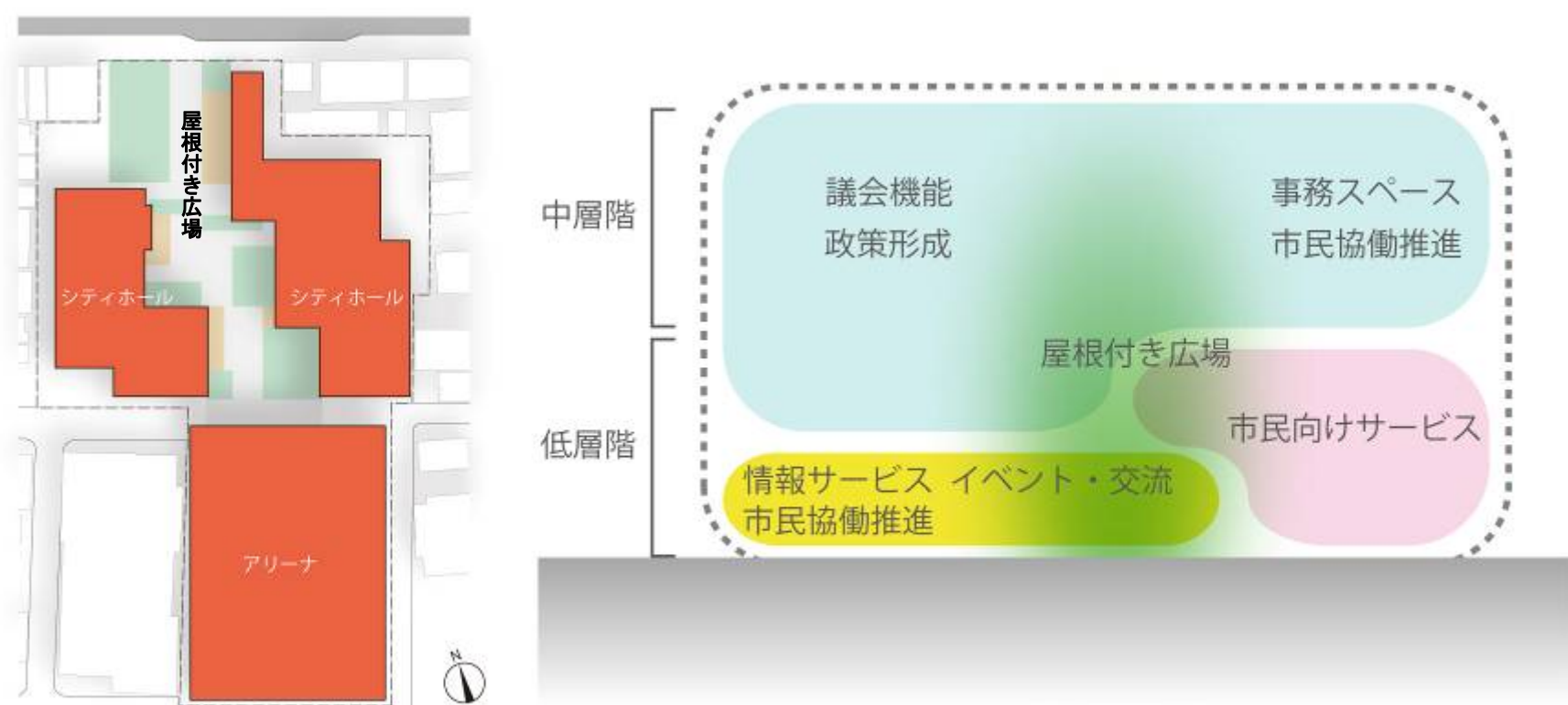


厚生会館地区本庁舎等の空間構成について

1 厚生会館地区本庁舎等の空間構成（案）

<空間構成の基本的な考え方>

- 市民が本庁舎に入って迷うことのないよう、各種届出・申請や相談など市民向けサービスの窓口をシティホールの低層階にまとめ、わかりやすくスッキリ配置します。
- 市民が気軽に待ち合わせや話し合いができる明るい雰囲気のコロニーや、市民活動やイベント告知、行政や地域の情報など、さまざまな情報を受発信できる情報ラウンジなど、市民との協働を支える施設をシティホール内に配置します。
- 市民との接点を増やし、より身近で開かれた議会を実現する観点から、議場や議員控室などの議会関連施設をシティホール内に配置します。



2 オープンスペースについて

(1) オープンスペース活用の基本的な考え方

- 利用目的や時間、使用料金などの面で自由度が高い、市民が利用しやすい運営を目指す。
- 年間を通じてにぎわいを創出するため、オープンスペースの運営は市民活動やイベントのプロデュースも含めた形で検討し、NPOや民間のノウハウを積極的に活用する。

(2) 様々な意見を基本設計へ反映

- 市民説明会の実施（2月17日（日） 午後5時 開催）
設計者自らが設計のコンセプトを市民に説明する。
- 意見やアイデアの募集の実施（市政だより2月号掲載）
実際に使う市民の自由な意見やアイデアを募集し、基本設計へ反映させるもの。
- 市民による議論の場の開催
市民と行政との協働作業でシティホールを実現していくという意識の醸成を目指す。